

新潟県医師会新役員等紹介

新潟県医師会長 4 期目にあたり

会 長
堂 前 洋 一 郎



新潟県医師会の会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

第192回新潟県医師会定例代議員会におきまして、4期目にあたる会長職を拝受させていただきました。感謝とともに身の引き締まる思いで臨んでおります。

会長職は新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の隆盛とともに始まりました。渡部前会長の方針であった行政、大学、医師会の三位一体での協力体制を受け継ぎ、新型コロナ対策に当たってきました。おかげで、新型コロナ感染症の死亡率は全国でも最低、宿泊療養施設や在宅療養者の死亡者は一人もいないという大変な成果をあげさせていただきました。特に郡市医師会の先生方には新型コロナワクチンの集団接種、宿泊療養施設、在宅医療においては多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナ感染症がある程度収束されたのちは、新潟県においてよりよい医療が継続的に、将来に渡って継続できる医療提供体制を構築するための地域医療構想へのかかわりです。医師会のもとよりの理念である「よりよい医療の提供体制の環境づくりへの支援」と地域医療構想とは目的が合致しているためこれを実現すべく、県行政とタッグを組んでやってまいりました。一例は新潟市の救急車受け入れ8,000台を受け入れる病院の

公募でした。済生会と医療センターが候補に挙がりましたが、最終的には済生会を選択させていただきました。まだ1病院では8,000台の受け入れはできていませんが、上記の両病院を合わせると年間8,000台以上を受け入れていただいております、新潟市の二次輪番の制度に寄与しているものと自負しています。

日本医師会も掲げている組織強化については、新潟県医師会も同様に取り組んでいます。令和8年3月31日時点では、会員数が3,357名で前年度から42名の増加となっています。日本医師会の代議員は医師500名に対して1名ですから現在は7人となっています。あと144名で代議員が1名増加となります。やはり代議員の数が多ければそれだけ日本医師会での発言力も上がってくるものと思われれます。何とか若手勤務医の参加を募り、会員数を増加させたいと考えています。

今回の理事の構成は女性理事が3名となりました。かねてから理事の中の女性理事は30%以上あることを目標に掲げてきました。1歩近づいてきたと考えられる構成となりました。女性目線で理事会に新たな風を送ってくれることを願っています。

この4期目皆様のために働きたいと考えていますのでご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



副会長

川 合 千 尋

この度、新潟市医師会のご推薦を賜り、4期目の副会長を務めさせていただくことになりました。

厚生局による指導は、低医療費県である新潟県においても、依然として「県の平均点数から見た高点数」を基準に行われています。本来、全国平均より医療費が低い県ではこのような指導を行うべきではなく、全国平均点数を基準とした指導に



副会長

内 山 政 二

新潟市医師会のご推薦により、副会長3期目に再任していただきました。担当は学術、地域保健、救急医療、病院、および福祉の各部です。整形外科医でしたが、現在は介護医療院＋老健で290床、毎日が火の車の民間施設を運営しております。

現場では医師だけでなく、多くの職種で人材が



副会長

上 田 昌 博

燕市医師会の推薦をいただき、副会長に選任されました。

理事として3期6年、副会長として1期2年、総務部、会計部、母子保健部、広報部担当副会長を務めて参りました。引き続き重責を担って仕事をさせていただけますことに感謝申し上げます。

改めるべきであり、今後も強く訴えてまいります。

一層複雑化した今回の診療報酬改定では、施設基準や各種加算の届出・算定において、小規模診療所は対応に大きな負担を強いられています。点数表はシンプルでなければなりません。さらに、医療DXへの対応には新たな経費が必要となっており、これらの費用は医療DXを推進する国が責任をもって拠出すべきです。

微力ではございますが、新潟県民の皆さまが安心・安全な医療を受けられ、医師が雑務に追われることなく生き生きと医療に専念できる環境づくりに努めてまいります。今期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

不足しております。一方、本県は1県1医学部のよい面として、地域連携を進めやすい素地があります。新型コロナの蔓延時、感染者の死亡率は本県が全国最低でした。これは医師会と大学、そして行政が一体となって取り組んだ結果です。厳しい状況下ですが、よい医療を提供するためには医療機関の経営安定化が必須です。どうぞよろしくお願いいたします。

また、日本医師会代議員に選任していただきました。今年6月開催の第163回日医臨時代議員会では、3回目となります代表質問に登壇する貴重な機会を与えていただきました。

人口減少社会における地域医療体制の再構築、医師の偏在・不足対策、病院・診療所などの厳しい経営環境への対応など、課題は山積みです。

堂前会長のもと、医療、医政の諸課題に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



理 事
田 中 篤

長岡市医師会からご推薦を賜り、このたび5期目の理事を拝命いたしました。これまでと同様、母子保健部を中心に、学校保健部、社会保険部、救急医療部、病院部を担当いたします。急激な少子化の進行と疾病構造の変化に伴い、小児医療提

供体制の迅速の変革が求められています。また、子育てを取り巻く環境はいまだ改善の兆しが見えず、子どもの心身が健やかに育ちにくい状況が続いていることを日々の診療を通して痛感しています。こうした状況の中、県医師会として、そして担当理事として担うべき責務を意識して、可能な限りの活動をしていきたいと考えております。引き続き、ご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



理 事
木 島 秀 人

新発田北蒲原医師会の推薦で理事に就任しました。4期目になります。

1期目は「コロナ対応」、2期目は「コロナの終息とその後」3期目は「医療の赤字経営とそれに伴う地域医療構想」でした。

少子高齢化で相対的に老人の割合が増えています。しかし、老人の実数は減少していますので、現実では佐渡地区で介護施設の統廃合が始まりました。

今年の診療報酬はそれなりのプラス改定でしたが、医療機関の赤字の解消ができるかどうか、疑問でもあります。

医療機関も老人（患者）減少の対応（医療機関の統廃合、連携など）を考えなければならない時代になりました。これらの難題に対し堂前会長を中心に真剣に取り組むたいと考えています。



理 事
吉 澤 弘 久

新潟市医師会からのご推薦をいただき、4期目の理事を務めさせていただくことになりました。

3期目と同様に、社会保険部を中心に、救急医療部、病院部、学術部、母子保健部を担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

大きく変化する医療情勢の中、特に高齢化社会への対応、医療再編とともに医療保険の制度改革は喫緊の課題となっています。

医師会員の皆様のご協力を頂き、より良い医療を提供できる環境作りに少しでもお役に立てればと思います。引き続き、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



理 事
中 平 浩 人

このたび新潟県医師会理事に再選され、4期目の任を拝することとなりました。主に産業保健を担当し、日本医師会が掲げる「行動する産業医」の育成に応えるべく、日医認定産業医後期研修会のさらなる充実、同基礎研修会集中講座の開設・

運営、地域産業保健センターの機能強化、特に登録産業医の確保への協力、ならびにセンター支援に資する産業保健ネットワークづくりに力を尽くしてまいります。これらの取り組みを通じ、県内産業保健の一層の充実に努める所存です。

先生方の日頃からのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後、小規模事業場の産業保健を支える地域産業保健センター登録産業医として、ぜひお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



理 事
井 口 清 太 郎

この度、新潟市医師会からの御推薦を頂き4期目の理事に就任させて頂きました新潟大学大学院医歯保健学研究科の井口清太郎です。どうぞ宜しくお願いいたします。

国は2040年を目途に「新たな地域医療構想」の

策定を進めようとしています。14年後というまだまだ先のようにも思えますが、すぐその話とも言えます。人口減少社会のただ中であって、これまでの制度設計が上手く回らなくなりつつあるように思われます。我々が今、教えている医学生が医師となり活躍する時代を見据え、必要な教育、体制作りを進めたいと思います。今後とも諸先生方からのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



理 事
小 柳 亮

このたび、引き続き新潟県医師会理事を務めさせて頂きたくこととなりました。振り返りますと、一期目は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種と在宅対応、二期目は在宅医療連合学会大会および日医未来医師会ビジョン委員会、三期目はか

かりつけ医機能に関する制度対応および日医地域医療対策委員会など、時々課題に携わってまいりました。今期は地域医療構想をはじめ、本県医療の将来を見据えた重要な時期と受け止めております。今期を一つの節目と意識しつつ、与えられた職務を誠実に務めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



理 事
上 野 光 博

上越・糸魚川市医師会のご推薦をいただき、3期目の理事を務めさせていただくことになりました。2期目は広報部中心でしたが、今期から学校保健部を中心に広報部、総務部、社会保険部、産業保健部を担当させていただきます。近年、児童

生徒の健康課題は益々複雑・多様化し、学校医に求められる知識や役割も変化しております。さらに地域の学校医不足や学校保健会の運営困難など学校保健に係る喫緊の課題も生じております。私自身、長らく教育大学で学校保健に係る教育に従事してきましたが、その経験を活かし、教育委員会や関係者との連携を通じてこうした課題解決に尽力したいと考えております。

ご指導・ご支援のほど宜しくお願いいたします。



理 事
本 間 照

この度、新潟市医師会のご推薦をいただき、3期目の理事を拝命いたしました。2期目からは主に病院部および災害・救急医療部を担当しております。

人口構成の変化に伴い、医療は「治す医療」から「治し支える医療」へと大きく変わりつつあり

ます。急性期においても、リハビリ、栄養、口腔管理などを積極的に取り入れ、身体機能の維持・回復を常に意識した医療の提供が大切です。入院と同時に退院支援を開始し、自宅退院、転院、施設入所など、その先の生活を見据えた診療を行うこともこれまで以上に重要となります。医療機関、介護・福祉施設や行政との連携を一層深めていかなければなりません。県医師会の先生方のご指導を賜りながら、地域医療の充実に微力ながら尽力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



理 事
中 嶋 俊 明

この度、三条市医師会よりご推薦をいただき、3期目の理事を務めさせていただくことになりました。

三条市で内科医院を開業しております。今回の複雑で難解な診療報酬改定、電子処方箋の導入、

電子カルテ情報共有サービスなど、急速に進む医療DX、小生のような、中高年の開業医には厳しい状況が続いています。

更に今回の診療報酬の改定は3.09%のプラス改定とのことですが、開業医にとっては実質的にマイナス改定となっています。昨今開業医が減っている状況において、開業医目線で、何か微力ながらお役に立ちたいと思っております。

今期福祉部を中心に担当致します。医師会の皆様のご指導、ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。



理 事

田 中 洋 史

この度、新潟市医師会のご推薦をいただき、2期目の理事を務めさせていただくことになりました。医療安全部、病院部、社会保険部、地域保健部、広報部を担当させていただきます。新潟県立がんセンター新潟病院の院長を拝命して3年が経

過しました。学び続けることと、情報を発信・共有することの重要性を改めて認識しております。昨年には、国からがん医療集約化の方針が示され、都道府県ごとに検討を進めるようにとの指示が出ました。みなさまのご意見をうかがいながら進めさせていただきたいと考えております。本会の運営と発展に少しでもお役に立てるように努力いたす所存です。ご指導のほどどうかよろしくお願い申し上げます。



理 事

齋 藤 昭 彦

この度、新潟市医師会のご推薦をいただき、2期目の理事に選出いただきました。主に学術部の仕事を担当させていただきます。また、新しく改組された新潟大学大学院医歯保健学研究科長、新潟大学医学部副学部長としての立場で、県医師会

と新潟大学とのより緊密な連携と協力体制の構築に尽力する所存です。更には、小児科医として、小児専門医療施設の設立を含めた新潟県の小児医療体制の再構築、そして未来を担う子どもたちを大切にする社会の実現に注力したいと考えております。今後とも、医師会員皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。



理 事

野 神 麗 子

燕市医師会よりご推薦いただき、県医師会理事として2期目を務めることとなりました。広報、母子保健、学校保健、病院部、社会保険を担当します。1期目には新潟県男女平等社会推進審議会と日本医師会男女共同参画委員会で、委員として

年数回その会議に参加しました。2026年医師国家試験合格者の37%が女性という一方で、院長、副院長など病院管理職の女性割合は10%以内に留まっており、未だに職場では女性の声が届きにくいのではないのでしょうか。女性の微妙な生き辛さのアンコンシャスバイアスや多様な価値観の中で、どう折り合いをつけて働き続ける道を拓けてゆくか、皆さんの意見を伺いながら、未来につながる提案をしたいと思っています。



理 事

八 木 澤 久 美 子

新潟市医師会のご推薦により今回初めて理事を務めさせていただきます。2020年から新潟市医師会理事として女性医師委員会（現ダイバーシティ委員会）、新型コロナウイルス感染症の対応のまとめ作成、広報部として会報やホームページ作成

の仕事を担当させていただきました。貴重な経験でした。この度、新潟県医師会理事として会計、母子保健、産業保健、福祉を担当させていただきます。医師として、ふるさと新潟に貢献できることはこの上ない喜びです。微力ではありますが精一杯頑張っていく所存です。なにとぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



理 事

五 十 嵐 修 一

このたび、新潟市医師会よりご推薦をいただき、理事を務めさせて頂くことになりました新潟市民病院の五十嵐です。新潟県においても人口減少と少子高齢化が進む中、物価や人件費の高騰、医療従事者の確保など、医療を取り巻く環境は一層厳

しさを増しております。直近までの6年余り新潟市医師会理事として務めた経験、そして、地域の基幹病院での勤務経験も踏まえ、今後は、より広い視野に立って、地域における医療・福祉のあり方や、持続可能な地域医療提供体制の構築について考え、その発展に微力ながら尽くしてまいりたいと存じます。県医師会会員の先生方には、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。



理 事

高 野 由 美 子

このたび、長岡市医師会のご推薦をいただき、初めて新潟県医師会理事を務めさせていただくことになりました。これまで、長岡市医師会理事ならびに県医師会広報委員を務める中で、多くの先輩諸先生方の高い見識と熱意に接し、理事という

重責を前に、あらためて身の引き締まる思いがいたします。新潟県全体の医療というと想像を超える大きな存在ですが、地域医療の現場に携わる耳鼻咽喉科開業医として、また女性医師の一人として、長岡地域と県医師会をつなぐ橋渡し役を意識しながら、与えていただく課題の一つひとつ誠実に取り組んでまいりたいと思います。微力ではございますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



監 事

浦 野 正 美

このたび、令和8年6月13日に開催された、第192回新潟県医師会定例代議員会で新潟市医師会からのご推薦により監事に選出していただきました。令和2年から令和6年までは代議員会副議長として県医師会理事会に参加しておりました。そ

の経験を活かし、同時に選出された長岡市医師会の草間昭夫監事と共に、県医師会役員の先生方及び事務職員の皆様との意思疎通を図り、円滑に県医師会活動が遂行されるように監事の職務を務めていく所存でございますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



監 事

草 間 昭 夫

この度、長岡市医師会のご推薦により、監事を拝命いたしました。責任の重さを深く受け止め、身の引き締まる思いであります。

これまで6年間、議長として理事会に出席し、また日本医師会代議員として県医師会の会務にも

関わってまいりました。その中で、執行部ならびに理事の先生方が真摯に尽力される姿に接し、医師会の活動が会員の皆様と県民にとって欠かせないものであることを強く実感いたしました。

今後は浦野監事とともに、公正かつ円滑な会務運営に資するよう、与えられた職務に誠実に努めてまいります。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



代議員会議長

岡 田 潔

第192回新潟県医師会定例代議員会で議長に選出された新潟市医師会長の岡田です。今後は副議長の荒井義彦先生と代議員会の円滑な運営、活発な討議に務めます。

新型コロナウイルス感染症では、自宅療養者のオンライン診療を、新潟市医師会と他の郡市医師会の連携プレーで乗り切りました。結果、新潟県

は自宅療養死ゼロ、死亡率が全国最下位（恐らく世界一）でした。コロナ対応で学んだのは、新潟市医師会のスタンダードが他の郡市医師会のスタンダードになることです。その後も、行政との各種ワクチンの価格交渉などのたび、新潟市医師会長としての重責を実感しています。

日本医師会代議員も引き続いて拝命しました。新潟県医師会と日本医師会とのパイプ役、調整役をしたいと思います。新潟県は面積も広く、地理的にも他県との交流が難しいと感じます。知名度の高い堂前洋一郎先生と共に、日本医師会とは会長の松本吉郎先生や常任理事とこまめに連絡、交流していきます。



代議員会副議長

荒井 義彦

第192回新潟県医師会定例代議員会において副議長に選出されました長岡市医師会の荒井です。岡田議長を補佐し円滑な会の進行に努力して参所存です。日本医師会代議員も拝命致しました。米づくり新潟の原風景である中越地域は高齢化率

が高く、人口減少に歯止めがかかっておりません。また人口比で医師数の少ない本県においても特に医師不足であり、高齢医師が孤軍奮闘している地区も少なくありません。いわゆる無医村地区も増えております。住民が安心安全に暮らせるようこの地域選出の先生方と連携し、堂前会長をはじめ諸先生方の知恵をお借りして住みやすい地域にしていくことが願いです。あわせて現状を日本医師会に伝えて医療政策に反影されればと考えます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



日本医師会代議員

高橋 慶一

上越医師会、糸魚川市医師会よりご推薦いただき、3期目の日本医師会代議員を務めさせていただくことになりました。上越医師会長を務めたこの6年間は多事多難でありました。新型コロナウイルス感染症はある意味落ち着き次のパンデミックに備える事が課題になり、医師の働き方改革、

かかりつけ医機能報告制度、地域医療構想など長く課題であったものが実行段階となりましたが、開業医と地域住民の高齢化、訪問診療への対応等これから大きくなる問題が迫って居ます。堂前会長をはじめとする県医師会役員の皆様には地域医療アドバイザーとして議論を進めていただき感謝しております。今後ともご指導お願い致します。

新潟県医師会退任役員等挨拶



前理事

鈴木 榮一

この度、8期16年に渡った県医師会理事を退任しました。その前の委員会等を含めると、相当の期間県医師会に関わったことになります。大学病院では実感できなかった様々なこと（専門外も含め）を経験し、勉強させていただきました。なんといっても、事務局の皆さんには、いろいろ助け

ていただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

これからは医師会という立場を離れて、これまで勉強させていただいたことを活かし、新潟で生まれ育った一人として、県内どこに住んでもある程度均等な、適切な医療が受けられる持続可能な体制を目指し、新潟の医療に少しでも貢献できるように、もう少し勉強してみたいと思います。

ありがとうございました。



前理事

高 井 和 江

新潟市医師会から推進いただき、2016年から5期10年、主に医療安全部、産業保健部、広報部を担当させていただきました。当初、女性理事は1名、女性医師支援事業として「保育サポーターバンク」の設置等を目指しましたが、残念ながら実

現に至りませんでした。5期目に、野神理事が日本医師会の男女共同参画委員として活躍され、新風を吹き込んでくれました。今期さらに女性理事が3名に増え、新たな視点で様々な分野で活躍されることを期待しています。検案を担う医師の育成や組織的な確保・支援も重点目標に掲げながら具体化に至らぬまま退任となりました。新潟県医師会の皆様のご指導、ご支援に感謝するとともに、ますますのご活躍を祈念しております。



前理事

大 谷 哲 也

2022年から2期4年間、県医師会理事を務めさせていただきました。救急医療、災害医療を担当しました。理事就任時は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいて最も重症患者の多かった時期で、救急医療は逼迫しましたが、医師

会の皆さんの協力を得ながら危機を乗り越えられました。

また、2024年1月1日に能登半島地震で新潟県に津波警報が発出され、新潟市は3号配備となり災害対策本部が設置され、新潟市民病院は全員当庁体制となりました。新潟県からDMAT、JMATとも現地に出動していただき感謝申し上げます。

これからも新潟県医師会が県民の医療福祉に貢献できますよう心より祈念いたします。



前監事

廣 橋 武

この度、5期10年務めてまいりました県医師会監事を退任することになりました。

振り返れば、開業医として地域医療に従事しつつ、市産婦人科医会、市医師会、県医師会において多くの先生方と出会い、ともに地域医療の為に

活動する機会をいただきました。

ご指導賜りました諸先生方ならびに事務局の皆様に心より感謝申し上げます。

時代と共に医療を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、今後も県医師会が地域医療を支える中核として発展されることを願っております。

会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。



前監事

大 塚 武 司

長岡市医師会より推薦いただき、5期10年間監事を務め、この度退任を迎えました。この間渡部前会長、堂前会長をはじめ役員、理事の方々や、職員の皆様のお蔭で職務を遂行することが出来ました。心から御礼申し上げます。

理事会に出席させていただき、山積する諸課題に対し熱心で真摯な討議を拝聴し、それらの実績の報告を受ける度に、県医師会が県民の医療、福祉に果たす役割の大きさを実感しました。特に新型コロナウイルス感染症での行政と連携し司令塔的な活躍は心に残っています。

今後の新潟県医師会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。